

令和6年度

別府市中学生英国姉妹都市

バース市交流プログラム事業 報告書



事業概要・・・・・・・・・・ P2

現地スケジュール・・・・ P3

現地活動内容・・・・・・・・ P5

生徒報告・・・・・・・・・・ P11

引率者総括・・・・・・・・・・ P17

事業概要

●目的

姉妹都市バース市での異文化体験、現地での交流（日本の文化とイギリスの文化の相互交流）を通じ国際的視野を広げ、将来の国際化社会を担うグローバル人材の育成を目指す。また、事業を通じて別府市とバース市の姉妹都市間の親善を深め PR できる人材となってもらおう。

海外での研修活動を通して、多様な視点やアイデアを学び、国際的知見を深めるとともに、国際社会に対する意識や進路について考える契機とする。

※グローバル人材

「グローバル人材」の概念を整理すると、概ね、以下のような要素。

要素Ⅰ：語学力・コミュニケーション能力

要素Ⅱ：主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感

要素Ⅲ：異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティー

このほか、幅広い教養と深い専門性、課題発見・解決能力、チームワークとリーダーシップ、公共性・倫理観、メディア・リテラシー等。

●主催

別府市国際交流推進協議会（別府市）

●実施先

英国 バース市

●実施期間

令和6年11月30日（土）～12月8日（日）（7泊9日）

●訪問生徒および引率者

生徒

中部中学校 3年 福原 礼花（ふくはら れいか）

青山中学校 3年 藏吉 さくら（くらよし さくら）

青山中学校 3年 小野 光大（おの こうだい）

朝日中学校 3年 久保田 紗那（くぼた さな）

鶴見台中学校 3年 笹野 夏帆（ささの かほ）

鶴見台中学校 2年 末松 晃一（すえまつ こういち）

※書類による一次審査、面接（日本語・英語）による二次審査により6名を選出。

引率

別府市文化国際課 森重 亜由美（もりしげ あゆみ）

姉妹都市英国バース市 中学生交流プログラム 研修日程表

| 日程 | 月日 (曜) | 訪問先 (発着) | 現地 時刻 | 詳細・料金 |
|----|--------------|--|---|--|
| 1 | 11/30 (土) | 別府市役所発 大分空港着 大分空港発 (JL674) 羽田空港着 | 17:00 18:30 19:45 21:10 | 参加者市役所駐車場集合 公用車2台にて空港へ |
| 2 | 12/1 (日) | 羽田空港発 (JL0041) ヒースロー空港着 ヒースロー空港発 パディントン駅着 BBFA 薫さんと合流 ロンドン市内視察 パディントン発 バース着 | 01:00 06:25 08:30 09:00 15:30 16:00 19:30 | ~日付変更線~ フライト時間 (約 14 時間 25 分) エリザベスライン (地下鉄 1 日乗り放題チケット) にて パディントン駅へ (スーツケース預け場所へ) パディントン駅→オックスフォード駅へ→リージェン トストリート→ピカデリーサーカス→チャイナタウン →ナショナルギャラリー→テムズ川→国会議事堂→パ ディントン駅 (地下鉄、徒歩) 荷物ピックアップ バースへ(Norfolk Square)から ELAC のバスで移動 ヒルトンホテルでスタッフとホストファミリーと合流 各ホームステイ先へ移動 |
| 3 | 12/2 (月) | ホームステイ宅発 | 8:00 8:30- 14:00 15:00 | 各自学校へ オリエンテーション バース観光、 市庁舎訪問、 ホストファミリー宅へ |
| 4 | 12/3 (火) | ホームステイ宅発 | 8:00 8:30- 15:10 17:00 | 各自学校へ 研修、ランチ クリスマスマーケット散策 プライヤーパーク訪問 (バースラグビー協会) ホストファミリー宅へ |
| 5 | 12/4 (水) | ホームステイ宅発 | 8:00 8:30- 15:10 放課後 | 各自学校へ 研修 ローマンバース視察 ホストファミリー宅へ |
| 6 | 12/5 (木) | ホームステイ宅発 | 8:00 8:30- 15:10 | 各自学校へ 研修 |

| | | | | |
|---|-------------|--|---|---|
| | | ホームステイ宅着 | 放課後 18:00 | アビー大聖堂視察 バース別府友好協会交流会 ホストファミリー宅へ |
| 7 | 12/6 (金) | ホームステイ宅発 ホームステイ宅着 | 8:00 8:30- 15:10 放課後 | 各自学校へ 研修 終了レセプション バースでフリータイム 各自ホストファミリー宅へ |
| 8 | 12/7 (土) | ホームステイ宅発 バース発 ヒースロー空港着 ヒースロー空港発 (JL0042) | 04:00 06:00 08:35 | ~日付変更線~フライト時間(13時間50分) |
| 9 | 12/8 (日) | 羽田空港 着 羽田空港 発 大分空港 着 大分空港 発 別府市役所着 | 07:00 9:30 12:15 14:00 14:30 16:00 | JAL SKY MUSEUM、格納庫視察 公用車2台にて別府市役所へ |

事前説明、研修会等

9月4日(水) 参加決定者説明会

9月18日(水) 研修①アイスブレイクなど

9月25日(水) 英語研修①

10月2日(水) 研修②

10月9日(水) 研修③

10月16日(水) 英語研修②

10月24日(木) バース別府友好協会研修 バース別府友好協会 上野さん、エドさん

10月30日(水) APU生(バース別府友好協会特命大使)による研修

11月6日(水) 英語研修③

11月9日(土) バース別府友好協会研修 バース別府姉妹都市友好協会 ジェイクス薫さん

11月20日(水) 長野市長表敬訪問(出発結団式)

11月30日(土) ~12月8日(日) 現地研修

2025年1月14日(火) 長野市長表敬訪問(帰国報告会)

11月30日(土)

17:00 別府市役所集合

公用車 2 台にて大分空港へ出発。

JL674 便 (19:45→21:00)

定刻出発 (荷物は直接ヒースローまで)

大分空港で17歳未満の搭乗確認書類をかなり厳しくチェックされた。

ヒースロー空港ではほぼ確認がないと聞いていたが、搭乗前にこれほど確認をするのは珍しいと想定する。しかし、機内でもメッセージ付きのプレゼントをいただき、到着の手荷物にもメッセージタグが付いており、大変気持ちの良い出発便となった。



羽田空港 T1→T3 移動 ターミナルを出て空港シャトルにて移動

JL0041 (01:00→6:25) ターミナル内での移動は可能であったが一旦外に出た方が近かったため、ターミナル間シャトルに乗車。深夜発 (AM1:00) 便を対象に、羽田のラウンジを使用できたため、ラウンジで食事や着替えやそれぞれにゆっくりする時間が確保できた。



12月1日(日)

羽田 T3→ヒースロー空港へ 定刻出発

機内で生徒1名が(到着3時間前頃)に体調不良。客室乗務員に献身的な介護を受け、安心できた。降機する頃には回復。

ヒースロー国際空港着 (定刻)

到着後、電車にて入国審査場所→荷物受取→荷物検査へ

17歳未満の入国は家族ゲートの利用を促されると聞いていたが、特に問題はなく、それぞれ入国審査を済ませた (※一名、有人ゲートにて資料を確認されたが、問題なかった)

荷物検査についてもスムーズで予定よりも早く入国

荷物受け取り後、セキュリティゲート内のトイレに携帯を忘れた生徒がいたが、携帯に連絡をし、親切な方がそのままセキュリティゲート外に持って来てくれ、無事に受け取ることができた。



空港内で BBFA (バース別府友好協会) ジェイクス薫さんと合流

T3 から電車でパディントン駅に向かう予定で出発したが、午前中のみエリザベスライン (直行便) が工事のため、不通となっており大きなスーツケースを持ったまま階段等を上り乗り継ぎをしたので大変であった。

パディントン駅近くでスーツケースを預けたが、全員、荷物が多く追加で3個預け荷物が増加した。同様の事

業実施時は、手荷物を少なくすることを周知したい、また歩きなれていない生徒も多いので想定時刻を長めに確保する。

その後、オックスフォード駅へ向かい、ビッグベン、テムズ川、国会議事堂などを見学。



ナショナルギャラリーへ向かう途中、雨が降り出したが、手荷物預け場所で傘を預けている生徒が多く、都度声かけをしないといけないと反省した。またレインコートや折り畳み傘は必須だと感じた。ナショナルギャラリーを熱心に見学する生徒が多く、時間を大幅に過ぎてしまったが無料でこれだけの絵画を鑑賞できることは日本ではできない経験であるので、最後は駆け足になったが、アートへの入り口としてみておくべき場所だと改めて感じた。その後荷物をピックアップしバース市内へ移動（ELACの手配バス）道中で、一名気分が悪くなりICで休憩をとる。すぐに良くなったため出発したが、直前に事故が起きており、渋滞にはまってしまう。バス到着予定（17:00）より2時間半遅れて到着。

バース市 ヒルトンホテル 19:30にホストファミリーへ引き渡し。

12月2日（月）

ホームステイ先で各自朝食

初日、バース中心部のバスターミナルへ全員集合しバスで学校へ向かう
（ELAC スタッフ二名が対応）

- ・ Liamさん/Liam Moloney（Operations, Sales & Marketing Manager）
- ・ アレックスさん/Alex

薫さんと私のホームステイ先が離れた場所であったため、AM6:50頃出発
全員で路線バスにてセントグレゴリースクールへ向かう。



セントグレゴリースクール到着

St Gregory's Catholic College

- ・ カーラ（今回の交流を担当してくれる学生）
- ・ ノーバーグさん（国際交流担当）/Charles Nordberg
Teacher of Humanities/ International Placement Co-Ordinator
- ・ 校長先生/Mrs Melissa George Headteacher

生徒1名につきバディがつき、各授業の教室に連れて行き、お世話をしてくれる。

ウェルカムセレモニーと写真などを撮影。学校内での撮影は厳しく禁止されており、

スマホの持ち込みは許可されているが、バディの許可があっても生徒が撮影することは不可とのこと。



学校でランチ後、午後からバース市内観光。ロイヤルクレセントなどを回りバース全体を歩いた。

16:00 バース市庁舎（ギルドホール）へ

バース市長、議員、BBFA メンバーだけでなく ELAC の Helen Ordever（Client Liaison and Administration Manager）も駆けつけてくれた。ギルドホールに入るのは初めて、と大変感激していた。

とてもフレンドリーな市長でガウンを着せてくれたり、マッスルポーズで記念撮影をしてくれたり、和気あいあいとした雰囲気の訪問となった。また、バース市内はどこもクリスマスマーケット一色でにぎわっていた。このブースに姉妹都市として出さないか？との提案もあり次回こちらのブースで別府市を紹介するの良いかも。終了後、各自のバスを待っていると欠航となり、30分ほどバスターミナルで足止めとなったが無事に帰宅できた。



12月3日（火）

一度、バース市内バスセンターに集合し BBFA キャロラインさんがバス乗車までを手伝ってくれる。

（薫さんと森重のホスト先がピースタウンであったためバスで直接学校へ向かう）

8:40 に学生は Assembly（ホームルーム）があるが、別府市中学生は図書室でカーラが対応し、その日の授業の確認などをした。9:15 から一限がスタートし、11:10 にモーニングブレイクで一旦集合。

その後 11:35～3 限目。13:30～ランチタイム、14:15 から 5 限。終了は他の生徒より早くバスに乗車できるように早めに出してもらえた。

モーニングブレイクやランチタイムの間には興味を持った生徒が来たり、スペインやメキシコから数か月単位で短期留学している学生がおり、たくさんの交流を持つことができた。ランチ BOX は事前に注文でき、みんなよく食べていたが、デザートは甘すぎたりして、食べられないものが多かった。それを現地の生徒に勧めると喜んで食べていたのが印象的であった。



午後からバース市内へ移動。そこから車 2 台に乗車し、プライヤーパークカレッジ（※）に向かい 2 月に別府市に来る予定の生徒と交流。（Prior Park College でのウエルカムレセプション）

- ・バースラグビー会長/Bath RFC Chair Stu Patton
- ・バースラグビーコーチ/Bath RFC Colin Blackburn コーチ

（2月に別府に来日する選手のお父さんで Bath and North East Somerset Council の議員）

- ・ポールクロスリー議員/Paul Crossley 議員

※プライヤーパークとはラルフ・アレン（バース郵便局長で実業家）が自身の邸宅として建造した建物で、現在はカトリック系のパブリックスクールとして使用され、ガーデンは入園料を支払って見学が可能。邸宅からの景色も計算された設計になっており、その景色は圧巻。



12月4日(水)

午前 通常授業へ参加

※薫さんと森重は職員室のようなところでミーティングや

午後からバース市内へ移動

ローマンバースへ



どこも興味津々でローマンバースにも長時間滞在していた。その後、バスにてホストファミリー宅へ帰宅

12月5日(木)

午前 通常授業

午後 バースアビーへ



バースアビーは閉館間際であったため、人も少なく堪能できた。また、頂上への登頂ツアーにも参加できた。興味津々で多くの場所で時間を取り、かなりの時間がかかってしまったが、堪能できたようだった。頂上では風が強く寒かったが、ホットチョコレートなどを飲みバース市街地を確認しながら体験できた。

その後 Touch Productions Ltd にてバース別府友好協会との交流会

エド協会会長、キャロライン夫妻、トムさん、エラさん（4年前に別府市文化国際課で勤務）等多くの関係者が駆けつけてくれ、お寿司を食べながらコミュニケーションを楽しんだ。一人体調が悪くなったが一人ずつ英語で挨拶をし、自由な会話ができた。



12月6日（金）

午前 通常授業

午後 通常通り、授業があった後にお別れの会を実施

（スペインから生徒が15名程滞在しており、一緒にお別れの会を実施）

スペインからの生徒とバディは別れを惜しんで開始前から泣いている生徒が多く、別府市は一週間の滞在であったが、友情が芽生えていた。

いつも全体の対応をしてくれていたカーラから手作りのクッキーとメッセージカードをもらい感激していた。



セントグレゴリースクールには中国からの学生は多く留学しているが日本からは今回が初ということで、大変好意的な対応であった。セントグレゴリースクールからニューヨークやカンボジア、中国などに短期留学や修学旅行を実施していることもあり、別府市へもぜひ派遣したいとの話もでた。（自己資金や資金集めなどを生徒が実施する事が多い）

その後、バース市でフリータイムとし、各自買い物などをするが、クリスマスマーケットの人出がすごく、多くの観光客がおり、トイレ休憩等も大変時間がかかった。

夜19:00頃にバース市内に暴風警報がでているとのアラームが鳴る。（携帯のアラーム）

夜中 3:00 頃からひどくなるとの警報であったが、航空機は通常運航予定、ロンドンには警報がでていないので、予定通り出発する事とした。

12月7日(土)

バス発ヒースロー空港へ

3:00AM

薫さんと森重で(薫さん運転)、キャロラインさん宅に到着し、ELAC 手配の送迎車を待つ

3:30AM に送迎が来る予定で準備していた。各ホストファミリー宅のピックアップ時刻が若干遅れたが

6:00AM にヒースロー空港到着

既にチェックインを実施していたため、各自自動チェックイン機で搭乗券をだし荷物タグを発行し、荷物も自動で預入ができるのでほとんど時間がかかるとはなかった。出国審査後の荷物検査では、水とリップクリームが引っ掛かったが、別検査を実施し返却された。荷物検査後、免税店などで少し買い物をする時間もあり、スムーズに搭乗できた。出発便が込み合っているとの理由で機内に 30 分ほど待機し、出発

機内では客室乗務員も生徒をよく気にかけてくれ、快適であった。また一名が到着日に誕生日であったため、乗員からメッセージカードとプレゼントをもらい喜んでいた。

12月8日(日)

羽田到着(T3): 予定時刻より早く到着

荷物受取→検査→入国

荷物が出てくるのを待っている間に、ビジットジャパンの手続きが終わり、スムーズに入国できた。(事前に登録しているか再確認が必要。各自 QR コードをスクリーンショットさせておく) 出口すぐにある国内線チェックインカウンターで再度手荷物を預けることができスムーズであった。その後、換金が必要な生徒だけ換金し、T3 で自由時間(食事をとる生徒もいた)

T3 から新整備場まで移動し JAL SKY MUSEUM の見学に参加



9:30~ミュージアムや格納庫を案内してもらい 10:40 に新整備場を出発

その後、搭乗時間 1 時間前に保安検査通過

大分空港到着 公用車 2 台(1 台に荷物を乗せ) 別府市役所へ、別府市役所にて家族へ引き渡し

1日目はロンドン観光で多くの有名観光場所を巡りました。ビックベンやテレビや写真で見たものよりも遙かに大きく、その美しさに長時間フライトの疲れも吹っ飛びました。ナショナルギャラリーでは風景画やキリストの絵など多くの絵画が飾られており、建物自体も凄く素敵な装飾があって本当にどこを見てもため息が出るほど美しかったです。初めてこのような美術館に行ったのでとても思い出に残りました。初日に食べたドーナツとケバブはどれも日本とは正反対の味付けで、とても衝撃を受けましたがおいしかったです。

2日目からはいよいよバスに移動しホームステイとセントグレゴリースクールへ登校が始まりました。セントグレゴリースクールでは11歳から18歳の生徒が1000人以上いて、校舎も多くとても大きい学校でした。学校では1時間目はバディの子たちに学校の案内をしてもらい、2時間目から授業に参加しました。



日本の学校では各クラスで同じ授業を受けますが、イギリスの学校では生徒一人ひとりに時間割があり、受ける授業によってメンバーが違いました。イギリスの教室には黒板は無く、ホワイトボードかモニターで授業が行われていました。板書の必要がほぼなかったため授業についていきやすかったです。先生がジェスチャーを用いて話してくれるので、全て英語の授業で不安でしたがとてもわかりやすかったです。私が学校の授業で一番楽しかったのはダンスの授業です。グループになり音楽に合わせて戦闘シーンを表現する授業で、一緒にグループになってくれた子達がすごくフレンドリーでした。日本の中学校では受けたことがない授業だったので、新鮮で楽しかったです。ブレイクタイムがあり、お菓子やピザを食べたりバスケットボールをしたりしている人がいてとても驚きました。学校で友達としたUNOはとても面白かったです。言語が全て通じなくてもカードゲームを通して心が通じあった気がしました。

放課後にはバス市に行き市長表敬訪問やバス市内の見学をしました。バス市長はとても優しい方で、市長室だけでなく議会等も見学させて頂きました。ロイヤルクレセントは夕方なもの相まって映画のワンシーンのように綺麗で、ローマンバスは映像で古代ローマ人の様子が映し出されて、工夫された浴場等を見ることが出来ました。

バスアビー（教会）の頂上で見た夜景は市全体が世界遺産に登録されているだけあって、絵本の世界のようでした。

18世紀の面影が残つつ、近代化しているバスはとても綺麗でした。

教会の中には大きなステンドグラスがあり、過去の爆撃で全て割れた時、2人の人が修復したと聞いて驚きました。教会の床下には遺体が安置されており、床暖房もあってとても暖かかったです。温泉を有効活用している床暖房で電気代を節約しているのはさすが英国唯一の温泉地のバス市だなと思いました。

私が今回の研修で学んだことは、何事も絶対に諦めないことが大切ということです。学校やホストファミリーと英語で会話する時、ネイティブの発音に最初は戸惑いましたが、会話も文法も全て緊張で飛び、何を言えばいいのか頭の中が真っ白になりましたが、単語だけでも並べることで多くは理解してくれました。伝わらなくても諦めずに行動し続けるということは何回も言われてきたことですが、今回の研修で身をもって感じたことでより大切さが分かりました。教会で見たステンドグラスも2人の人が諦めずに修復して下さったからこそ今美しく多くの観光客に見られています。ホストファミリーの方が 'There's light at the end of the tunnel. 「大変な時期の終わりにはいつも希望がある」という意味の言葉を教えてくださいました。この研修で感じたこと、出来た繋がり、この言葉をしっかり胸に抱きこれからの生活にしっかりと活かしていこうと思います。



1日目はたくさんの期待で飛行機に乗った。14時間のフライトがきついかなど思っていたけど、よく眠れて、早く着いた。2日目のロンドン景色が日本と違い、歴史的な建物があちらこちらにあって感動した。ホームステイ先のファミリーはとても親切で過干渉してこなく過ごしやすい家だった。写真で見ていた景色を実際に見ることができ、感動した。行ったお店の店員さんも気さくな性格で楽しく話しかけてくれた。イギリスの雰囲気をもっと感じることができた。

3日目は初めての学校で初めてのバス通学で新しい経験をたくさんした。日本の学校と違いすぎるのと、英語がわからなくて、初日はとても疲れた。学校に行きたくないと思った。学校は次の日からだんだんと慣れていって、授業が楽しいと思った。数学の授業が特に理解しやすくて好きだった。ブレイクのときに一緒に遊んだ時間がすごく幸せだった。ブレイクの時間に学校の友だちとカードゲームをした。世界共通の遊びがあるのだととても嬉しい気持ちになり、英語で会話しながらのゲームは楽しくワクワクするものだった。

新しい友だちがたくさんできたことが学校での1番の思い出。

最終日、学校と友だちとお別れをした。新しい経験をして、学びの多い学校生活だった。放課後の時間はたくさんイギリス、バースの景観に触れることができた。私はアビー（教会）が好きだった。バースの美しい景色を眺めることができる良い場所だと思った。私が今回のバースプログラムで1番心に残っている楽しかったことはバース別府友好協会の人たちとの交流だ。親切な人が多くて、英語でたくさん話すことができた。みんな自分らしさ、意思を持っていてパワフルだなと思った。

今回のプログラムで、5人の友だちと出会い、一緒に旅をした。最初はあまり仲良くなかなく、ぎこちなかったけど、日に日に良いところや面白いところを見つけることができて、とても仲良くなれた。

今回のプログラムだけで終わるのではなく、これからもまた集まりたいと思った。大好きなメンバーの価値観が合わないこともあって、少し気持ちが重くなる時もあったけど、多様性を考えて、たくさんの考えを持った人がいるのは良いことだと思うようになった。私は今回の旅で仲間の大切さ、多様性の素晴らしさを学んだ。5人の仲間がいたからこそ、この旅を心から楽しむことができ、多くの学びを得られた。イギリスの学校には多国籍の生徒がいて、それを自然に受け止めて接している姿が印象に残った。私もどんな人のことも理解し、尊重するという心を持ち、これから過ごしていきたいと思う。今回の旅を良い思い出として残すだけでなく、学んだ大切なことを日本の中でも広め、異なる文化や言語を持つ人々が互いを尊重し、協力できるように働きかけていきたい。今回のプログラムでイギリスの良さ悪さ、日本の良さ悪さを見つけることができた。イギリスはもっと清潔さが欲しい。学校ももう少し効率がいいやり方があると思う。2段バスは観光客も増やせて、人件費も削減できて、待つ人も少なくできて、良いと思った。日本にも多く取り入れられたらいいなと思った。日本は清潔で安心する。教育の質も高く、学校は絶対日本がいいなと思った。日本は考え方が固執していてもっと男女分け隔てなく仲良くし、ラフに考える必要があると思った。



バースの人々は僕が思っていた以上に優しくかったです。僕たちが行った学校、セント・グレゴリーでは、南アフリカや、香港、メキシコなど、たくさんの国籍の人がいました。

その学校を初めて訪れたときに、驚いたことは、生徒全員が差別せずに、僕たちに接してくれたところです。この学校には中国から来る学生が多く、中国人と勘違いして挨拶をしてくる人もいたけど、日本人が来たのは初めてで彼らは本当に勘違いをしていました。しかし僕たちが日本人ということを説明するとわかってくれました。

僕たち、1人1人についてくれたバディの子も、僕たちの英語を辛抱強く聞いてくれたり、クラスの友達も、積極的に話しかけてくれたりして、英語をたくさん使うことができました。この研修で、得たことは「相手に対して、物怖じせずに、自ら話しかけに行くということ」です。学校の友達と話す時はもちろん、ホストファミリーや、バース別府友好協会の方々と話すときに特に意識しました。会話が続いていることが実感できると、自分の成長をその時に感じました。

バース別府友好協会の人たちからは「彼はどこかに留学していたの？イギリス英語の発音やアクセントが綺麗でびっくりした」と引率の方が言われたそうです。僕はバース別府友好協会の方が別府で開いている英語教室に何年も通っています。また、ハリーポッターシリーズが大好きで映画も英語の台詞を全て覚える程に見ています。自分の好きなことや続けてきた事を活かせる、素晴らしい経験となりました。



そして、来年別府市に来ることになっている中学生ラグーマンとの交流もありました。

しかし、英語のコミュニケーションが取れるという事はネガティブな言葉も聞こえてしまうのだと実感しました。日本では当たり前のことですが、普段聞きなれていない言語の言葉は良い言葉も悪い言葉もとても胸に響きます。

この経験は僕にコミュニケーションや言葉の大切さを改めて考えさせてくれる良い機会となりました。僕も小学生の頃からラグビーを続けていて、彼らの体格の良さにも驚きましたが、別府で試合をする時には絶対に負けないぞ、と強く思いました。



そしてバース観光の際、街全体の雰囲気がとても好きでした。僕が研修に行った時期はクリスマス間近で、クリスマスマーケットの雰囲気と、統一された建物の雰囲気、さらにバースでは、たくさんの路上ライブやパフォーマンスが行われており、クリスマスマーケットから漂う、お菓子のいい匂いなど、五感で、クリスマスを感じられました。ホットアップルジュースにも挑戦しましたが、少し苦手でした。ジンジャークッキーはとても美味しかったです。五感で感じる事は、実際に現地に行ってみなければ経験することはできません。この事業に参加することができて、とても良かったです。もしこの事業が継続するなら、絶対にチャレンジしてみることをお勧めします！

日本の建物は、木造家屋が多く、マンションは高層階のものをよく目にすることができる。イギリスの建物は、ほとんどがレンガ造りでできており、3階建てや4階建てなどの縦に細長い形状の家がいくつか繋がった大きな家屋が多いことに驚いた。また、イギリスの主食は豆やじゃがいもであり、昼食や夕飯にはほぼ毎食、じゃがいも料理が出てきた。お米は日本のものと違い、細くてパラパラしていた。どれも日本にはない味で美味しかった。

ロンドンでは観光客と思われる人が多く、街がとても賑やかだった。ナショナルギャラリーという美術館に行った。そこにはモネやゴッホなどの有名な画家の絵がたくさんあった。実物を見るのは初めてだったから絵の繊細な美しさに驚いた。私はそこにあった蟹の絵が一番気に入った。

色鮮やかな赤い蟹が細かく描かれていてとても感動した。他にも綺麗な絵が沢山あってどれも美しかった。ビッグベンや赤い電話ボックスはテレビ等で見たことがあったが、現物を見た時には、スケールの大きさや美しさに魅了された。

また、歴史を感じる建物がとても多く、驚いた。バースは建物が美しく、自然も豊かで、街中を歩いているだけで楽しかった。アビーにも行った。アビーは長い階段を登り、バースの景色が一望できる場所だった。

頂上の綺麗な景色とそこで飲んだホットチョコレートは最高に美味しかった。バース市長表敬訪問では、市長室の中にあつた展示物や市長のお話を聞いてバースの歴史を感じることができた。ローマンバースに行き、ローマ時代からある物だと聞いてとても驚いた。温泉が出ているという別府との共通点を見つける事ができて、親近感が湧き嬉しかった。クリスマスマーケットは、どこを見てもキラキラしていて、とても綺麗で感動した。

バース別府友好協会の方たちと一緒にお寿司を食べた。日本のお寿司とは違い変わったものが沢山あった。中でも揚げ寿司は初めて食べた味でとても衝撃的だった。そこでは日本人の方やイギリス人の方などとたくさん話した。みんなとても良い人で、話していて本当に楽しかった。英語を話すことはとても好きだけれど、特に得意ではなかったので、最初は話せる自信があまりなかった。

学校やホームステイでは英語を聞き取ることに精一杯で自分から話しかけることはできなかった。でも、日が経つにつれ、英語を聞くことに慣れてきて、自分から質問したり楽しく話したりすることができるようになった。ホストファミリーではクリスマスリースを作ったり2匹の犬と遊んだりした。仲良くなれてとても嬉しかった。学校は最初の方、とても緊張した。うまく聞き取れなかったり、伝わらなかったりして、行きたくないと思ったこともあったけど、バディの子や話しかけてくれた子と友達になることができた。外国に友達ができるという事がとても嬉しかった。授業や学校生活は日本と全然違ってとても驚いた。お菓子を食べている人や、お化粧をしている人がいて、文化の違いを感じた。新しい友達とは連絡先を交換できたので繋がりを大切にしたいと思った。

最後には帰りたくないと思うぐらいに楽しい時間だった。最初は自信がなかった英語を話していくにつれ相手に伝わり、会話が成立することが嬉しかった。母国語だけではなく、英語はもちろん他の言語を話すことができれば世界中の人達と友達になれることを学び、この重要性を周りの友人にも伝えたいと思った。

今回のこの経験を得てもっと英会話が好きになり、将来留学して学びたいという意欲が強くなった。日本では経験できない多くの学びがあった研修だった。



私は海外にとっても興味があり、受験が控えていましたが、この機会にぜひ行ってみたいと思い、別府市 100 周年記念事業の中学生英国バス交流プログラムに応募しました。飛行機に乗ること自体も初めてでとても興奮しました。特に印象に残っていることは、飛行機の中で体調を崩してしまい、客室乗務員さんにとっても親切にしてもらったことです。旅行の始まりから、体調をくずしてしまい、不安要素が大きくなりましたが、メンバーに支えられ、その後のロンドンでの散策では、普通に楽しむことができました。ロンドンの街並みがとてもおしゃれで日本との違いにとっても興奮しました。ビッグベンを見た時には古いのにもかかわらず大きさに圧倒されました。町中で馬などが歩いている、雰囲気がとても合っていて、日本とは別世界だと感じました。ナショナルギャラリーでは絵を写真と見間違えるほど素晴らしかったです。私も絵を描くことが好きなのでなぜこんなにうまく描けるのかと気になって近くまで行き過ぎてスタッフの方に注意されてしまいましたが、とても細かく合成されていることが分かりました。ここで、真似をしようとするのではなく、特徴として理解し、自分の良さが反映できるように書き方を見つけようと思いました。

ホームステイ先では、どんな方たちだろうとドキドキしていましたが、2 人とも親切で親しみやすく、すぐに打ち解ける事ができました。自分が好きなアーティストを共有したり、数学について話したりしてとても楽しかったです。音楽と数学は世界を繋ぐれると実感することができました。

2 日目からバスで学校に通いました。初めて 2 階建てバスに乗って、バースの景色を満喫できました。セントグレゴリースクールはインターナショナルスクールで他の国からの留学生も来ていて、様々な人達と交流できました。私達と交流をする学生はみんな親切ですぐ仲良くできました。思っていたより、自分の英語で伝わったので良かったです。英語の授業はわからなかったけど、雰囲気を楽しめたので良かったです。数学の授業では習ったことのある問題を扱っていたため、バディの子に教える事にしました。実際とても難しく、数学で出てくる単語を英語でどういう風に言うのか、とても勉強なり面白かったです。毎日学校に通う内、何を言っているのか大体分かるようになりました。自分のコミュニケーションを広げることができて楽しかったです。

また、バースの観光では、地下室があり、バースの道は元々とても汚かったけど、綺麗にしようとする風潮が始まり新しい道路を元の道の上に作ったことや、ロイヤルクレッセントでは建物内から見た景色も含めて細かい所を考えて設計されている事、ローマンバースでは、昔の建物なのにも関わらず、大きさに圧倒され、

バースの歴史を身近に感じる事ができました。

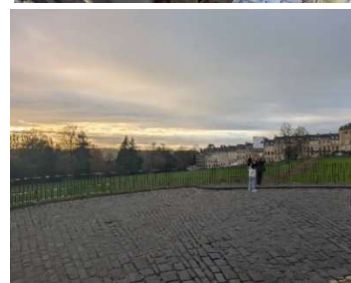
小さな都市に歴史的建造物がたくさんあり、街自体が世界遺産に登録されている事が納得できました。また、宗教の授業は日本にはないのでとても新鮮でした。

宗教を重要視している事がとても伝わりました。歴史等、目的にあった異文化を学ぶ体験をすることができました。

ホームステイ先のキャロラインさんにバースを一望できる丘に連れて行ってもらいました。夜景がとても綺麗でした。

丘に行く途中に公園やトンネルの下の人工川沿いを歩いて、

全く通ったことのない場所を珍しい時間帯に歩いたので、未知の冒険で本当に楽しかったです。今回の事業でイギリスの人たちはとても親切だと感じました。行く前は不安がありましたが、丁寧に教えてくれたりして、嬉しかったです。イギリスはとてもいいところだとみんなに伝えたいです。そして私が大人になった時にまたイギリスに行きたいです。この経験はかけがえのない宝物です。今回親しくなった人たちと繋がり英語でたくさん会話をして英語力を養っていきたいです。



私が今回の研修で心に残ったことはセントグレゴリースクールの生徒たちとの学校生活ととても綺麗なバースの街並みです。初めての海外経験だったので何を持っていけばいいかわからず、少し不安な気持ちで当日に臨みました。いざ始まると皆が優しく接してくれて安心しました。フライトは14時間という長い時間だったのでとても疲れました。ロンドンに着いた時はイギリスに来た実感はありませんでしたがビックベンやパディントン駅をみて実感し圧倒されました。一つの建物が綺麗で素晴らしかったです。そこから車でバースに行きました。着いた時はめちゃくちゃ寒くて凍えました。ホームステイ先ではアリソンさんが優しく接してくれて英語があまりできない僕でもしっかりコミュニケーションをとる事ができました。この瞬間にこのバース交流会プログラムに来てよかったと思いました。

自分の英語が通じると分かるということは自分の大きな自信に繋がりました。学校はセントグレゴリースクールに行きました。正直1番心配していたのがその時間でした。彼らはネイティブで正直言葉は全く分かりませんでした。初日はこれからやって行けるか不安でいっぱいでした。生徒たちは色々な国からの出身の生徒がおり私たちは校内ではずっと英語を話していました。学校が終わるとバースの街並みを見ました。バースの建物は本当に綺麗で地下まであるのにびっくりしました。またクリスマスマーケットがあり色々なものが売られていました。

私はマフラーを買いました。

このバースでいちばんびっくりしたのがプライヤーパークにある神殿のような大きい建物でした。そこからバースが一望でき、大変綺麗でした。

そして個人的に嬉しかったのはバース別府友好協会交流会でたくさんの人と1時間程英語で会話したことです。私は自分の英語に自信がなく不安でしたが学校生活を続けていくとしっかり英語が聞き取れるようになって会話が少しだけ出来るようになりました。自分にとっては大きな成長になりました。



そしてなによりホームステイ先であるアリソンさんに感謝したいと思っています。

日本人の私たちを厚く丁寧に対応していただき本当に感謝しかありません。今回の企画を通して大幅に成長することが出来ました。ホームステイでの経験、外国の学校での経験またバースの景観、今回うまくいったこともうまくいかなかったことも全て自分の成長に繋がりました。

担当の方は私たちのためにどれくらい準備してきてくださったのか私たちにはわかりませんし感謝しかできません。別府市が始めてくれたこのプログラムで私たちはグローバルな人材になれましたか？少なくとも自分はこのおかげで自信もつき、もっとこの大好きな別府が外国との関わりを持って欲しいなと思いました。短い時間だったけどこれまでの多くのこと絶対に忘れません。最高な9日間でした！

事故等の大きな問題もなく全行程を終えることができました。当初は中学生というや初めて飛行機に搭乗する、海外に行くことが初めてという生徒もおり心配していた点多かったのですが、特段大きな問題はなかったように思います。

しかし、健康管理やグループで行動することが苦手な生徒はついていくのが大変であっただろうな、とも感じました。中学校の修学旅行などで、保険の先生や担任の先生等が対応する事まで手が回らず、その辺りのフォローが十分にできていなかったのではないかと考えています。しかし今回は他の生徒がとても優しく、また全体が見えている生徒もおり、カバーしてくれるが多かったので随行としても大変助かり、大きな混乱はなかったように思います。また全ホストファミリーの対応もよく、帰宅時間や体調の確認等、こちらと細かく連絡を取ってくれたので、大変助かりました。この辺りも夏季休暇等の多客期では、ホスト先が逼迫していることから、対応が悪いこともあるようなので、幸いであつたと思います。

学校生活では生徒も記載しているように、初日はどうなることかと思いましたが、日に日に馴染んでいき、最終日には全員帰りたくないと言うほどになり、多国籍の生徒と交流することができました。また休憩時間には折り紙やカードゲーム、お互いのおやつ交換等、様々な交流をすることができたように思います。語学学校ではなく、公立の学校であつたため、色々な交流ができました。また、セントグレゴリースクールはカトリック系の学校で宗教やディスカッション形式の授業もあり心配な面もありましたが、外部生徒の受け入れ数が年間を通して多く慣れているので、その辺りの問題は特段なかったと思います。

授業が試験になる時間帯等は別の事をするように指示されて、退屈することもあつたようです。次回は日本の学生だけで英語の授業なども取り入れるのが良いのではないかと考えています。また、スクールランチもレストランのような食事ではなかったため、経費はかかりますが、外食を何度か取り入れても良いかなと思いましたが。本場のフィッシュ&チップスを食べたかったとの意見もあり、他にも外食の仕方や頼み方等を学ぶ機会があつても良いと感じました。(夕食はホスト宅で食事をするので街で食事をする機会が少なかったです)

全体を通して、まとまりがあり生徒同士で確認したりして、グループとして行動するには動きやすかったです。それぞれ通学している学校が違うので、渡航前の研修は全て参加するのは大変ですが、必ず実施するべきと感じました。こちらでも生徒の性格をすべて把握できないですが、お互いに関係性を築いておくことで助け合うことができ、連帯感もでてきます。またスマホを持っていくのをどうするかという問題がありましたが、結果的にはこちらでも連絡等対応ができるので持参の方がよいと思います。

またお金は日本円でもキャッシュレスに慣れている生徒が多く、小銭を持って余していました。カードを持っている生徒もいましたが、自分がどの程度の金額を使用するのがわからないので現金は難しいと感じました。現地ではほとんどがキャッシュレス対応であるので、勉強にもなると思います。家庭環境にもよるので一概にスマホ・カード持参を進めることは難しいと思いますが、推奨した方がよいと思いました。今回は初の試みで、準備に多くの時間を割いたので、大きな反省点はなかったように思います。バース別府友好協会の会員の協力体制も大きく、各参加家庭の保護者や現地での会員、関わっていただいた方にこの場をお借りして深く御礼を申し上げます。

通常の留学とは違い、別府市の姉妹都市である場所で温泉等についても学ぶことや活動ができ、現地友好協会と密にやりとりができるという点と現地の公立学校で実際の授業を体験し生徒たちと交流できる点が魅力であると思います。今回の事業をきっかけに友好協会会員がホストファミリー先として登録してくれる動きもあり、今後ホストファミリーが全てバース別府友好協会の会員という形になれば、参加する生徒や保護者の方も安心感をもって訪問をすることができると感じています。今回参加した生徒がこの体験を契機にして様々な事に挑戦し、バース別府友好協会だけでなく多くの国際交流事業や姉妹都市事業にも参加してくれることを願っています。